



読字 故 原 田 親

No. 626

2011/1/15

日中友好新聞

発行所

日本中国友好協会
〒113-0045 東京都千代田区
西船場1-1-1 東京大学ビル3階

日中友好協会
岡山支部

〒700-8256
岡山市東区3-8-30 511
TEL:0861272-3010
郵便番号11所
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部

〒712-8911
倉敷市遊島中央1-8-4
(宮地方)
TEL/FAX:0860446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



日中友好協会を知ってもらおう

国際交流センターでパネル展

2月10日から17日までの一週間、岡山駅西口の県国際交流センターで、日中友好協会岡山支部を国民に知ってもらおうと、パネル展を開くことになりました。

再戦平和の宣伝、カレンダー……協会案内など、どんな展示をしたらいでしょうか？

みなさんの知恵をおかりしたい、こんなものを出したいがどうかなど、理事会まで提案してください。どうぞよろしくお願いします。担当は河井伸士理事です。

パネル5枚(900×1800)が用意されます。多彩な活動をしている協会は、まだまだ多くの国民には知られておりません。中国語や日本語の教室、太極

研究誌「季刊中国」冬号を読んで

シンポジウム「日中関係の未来を展望する」の記録は読みごたえがあった。中国の政治、経済、文化などを専門に研究している方々の発言は興味深い。(違)もはつきりして。

たとえば「ノーベル平和賞」の問題。M氏は「ノーベル平和賞の受賞は大変良いことだと思いません。ノーベル賞委員会あるいはノルウェーは、中国の内政に露骨に干渉しましたが、人権の問題は、国境を越えます。ノーベル賞委員会は、中国は経済大国

の第2位で、第2位であることの責任がある、その責任を果たしてほしいとして、今回の受賞を決めたというようにコメントしました。私はそれを100%支持します」と話している。

H氏は「私はノーベル平和賞を今回中国の劉曉波氏に与えたのは、おかしいと思います。政治的判断があまりにも濃厚であるからです。第2の大国の人権尊重と言われますが、第1の大国の人権尊重はどこまで存在しているのでしょうか。オバマ

新年おめでとうございます。本年が兎のように、飛躍の年でありますように。

日中おかやま No.625(2011.1.5)の答えを考えました。

① 対聯の日本語訳

美しい虎が山に帰っていった。(寅年が過ぎ)
立派な兎が春を連れてやって来た。(卯年が来た)

② 「福」の字が逆さになっている理由

福の字が逆さに倒されています。倒すの「倒」の発音は「dao(たお)」で

「到」(dao(たお))と同じです。

すなわち「福を倒す」と「福が至る(来る)」く fudao(ふうたお) という同音を利用した掛詞だと思います。

これを縁起物として、門の入り口や部屋の壁にかけている家が中国にはたくさんありました。

日本語教室・岡山の会 井上進夫

はノーベル平和賞をとりました。が、いまだにアフガニスタンに対しては、武力攻撃を続けています」と。

日中友好新聞にK氏は言論の自由を抑圧する拘束などあつてはならない。一方、過去の受賞者に佐藤栄作やダライ・ラマがいることからも明らか

に、平和賞は政治的に利用されてきた側面も存在し、(略)劉氏は「全面欧化論」で米国型の民主・社会の在り方を唯一絶対のモデルとする傾向が顕著でアフガン侵攻をも支持を表明する「アッシュ大統領宛ての書

簡』をインターネット上に発表し、賛同者を募ったりもしていた」と。

複雑で難しい問題だな、と思う。

結局、M氏の政治体制について多党制と共和制と言論・結社の自由を言うだけで11年も牢屋に入る(劉曉波の場合)というのは、どう考えても異常です」という言葉がストンと胸におちた。いずれにしても中国のゆくえは、中国の人たちが決める事です。

坪井あき子

日本の習慣、文化、生活を知るいいチャンス 「くぞ」と言われて 餅つき

「くぞ」と言われ、いちに、いちに「杵つきで繰り返し打ち、見る見るうちに、もち米は粘りが出て、形が変わっていく。僕の楽しい一日始まりました。

小林先生に誘われ、町内の餅つきに参加させていただきました。私たちは町内の人じゃないにもかかわらず、親切に接してくださいました。

日本人にとって、餅つきは極普通の年末行事かもしれませぬ。ですが、私たち外国人にとつては、日本の習慣、文化、生活を知るいいチャンスです。社会勉強の場でもあります。

男性がもち米を蒸し、そして、臼に入れ、杵でつく。女性がつき立てのもち米を同じ大きさになりぎり、そして、中に餡を入れ、大福、白もちを作っていきます。なんだか昔の日本が見えてきたような気がします。

休憩時間に、愛子先生から、「この餅つきはもうすでに町内で30年も続いている。始めたころ、小さかった子供らが今はもう大きくなり、所帯を持ち、そのときの自分らと同じくらいの子供を持っている人もいます。外に嫁いだ女の子たちが、餅つきの季節には戻ってくる」。なんだ



中央が馬英飛さん

心が温まる話です。

餅つきの後、愛子先生と卓球対決をしました。自信満々の僕でしたが、一時間の対決が終わり、参りました。これがいよいよがなかったです。これからたくさん練習して、いつか愛子先生に勝ちたいです。

私たち外国人にとって、このようなチャンスに触れるのは大事な事だと思います。学校に行つて、バイトして帰って寝る。そういう淡白な生活を送っている留学生もたくさんいる。それに比べ、皆さんのおかげで、自分はどうなんかに幸せかと身にしてみ、感じているこの頃です。

馬英飛

帰国者たちと陶芸作りを体験

岡山市残留邦人支援相談員 黄 艶萍

岡山県内の帰国者との交流を深めるために、12月17日に中・四国中国帰国者支援・交流センターが岡山県内の散策と陶芸教室の一日体験を主催しました。当日の参加者は、帰国者29名、センター職員3名、岡山市の相談員2名、日中友好協会のメンバー1名の延べ35名でした。

午前、皆さんは八塔寺ふるさと村、八塔寺ダムを参観しました。標高400mの高原に、茅葺屋根の民家が点在するのどかな風景が広がっています。懐かしい風景が残るため、映画「黒い雨」、テレビドラマ「穴ツ墓村」(ぼたるの墓)のロケ地にもなりました。「とセンター職員の金山さんが紹介してくれました。帰国者たちの多くは、小さい頃茅葺屋根の家に住んでいた経験があったそうです。高杉久治

さんは「この屋根は、中国より3、4倍厚い。茅葺屋根の部屋は夏が涼しく、冬は暖かい。」と言いました。中に入ってみると、昔の家庭用品が並んでいます。一番に人目を引くのはお風呂用の大きな木製湯船でした。僕は幼い頃このような湯船の中でお風呂をしたよ。バケツの下で薪を燃やすと水が温くなる。」と日中友好協会の小林さんは説明してくれました。

その後、1200年の歴史を持つ八塔寺の中に入りました。中には樹齢700年の木があり、年月でコブがいつぱいできコブの木と呼ばれているそうです。この木の前に立って、皆さんは思わずに触りたくありません。八塔寺の参観が終わった後、近くのレストランで食事しました。食事はバイキングでした。野菜、魚、おでん、カレイラ



2010/12/17

「中国残留邦人の暮らしは今」 宗景正写真展

会期:1月26日(水)~28日(金)

時間:9時~17時

(最終日は14時まで)

会場:倉敷市役所1階展示ホール

入場無料

お問合せ:日本語教室倉敷の会

086-485-1220(山縣)

主催 日中友好協会倉敷支部

中国帰国者の日本語教室倉敷の会

後援 倉敷市 倉敷医療生活協同組合



編集より

新年を迎え気持ちも新たに、なるべく読みやすい紙面の構成を考えていきたいと思っています。会員、準会員のみなさんからの、「つぶやき」をお寄せください。長い文章より短くても内容のある記事を募集します。

インターネットのホームページも何とかしたいと思っていますが、このところ更新が滞っています。どなたかお手伝いして頂けませんでしょうか。

お手伝いいただける方はメールでご連絡いただくと嬉しいです。

編集担当 竹内



お元気で新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2011年こそ「曇りのち晴れ」の年にしたいものです。

ますますお元気で活躍されますよう期待しています。

失礼ながら年賀状を写真に撮って添付しました。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

元旦

小 阪 洋 志 (志 峰)

高梁9条の会

イス、すしご飯、焼きそば、果物、デザートなど種類が豊富でとてもおいしかった。食事後、皆さんは備前焼の製作所へ向かいました。備前焼の歴史が長く、日本の文化財の一つとして多くの人が魅了されてきました。製作所の売店に茶碗、コップ、花瓶、動物形の焼物などたくさんのお品が展示されていました。帰国者たちはきれいですね、でも値段も高いね」と言いました。売店の参観が終わって、皆さんは陶芸作りを体

験し始めました。先生の指導の下で、皆さんは粘土を使って一つの陶器を作ってみました。益田百合子さんは、刺繍の経験を生かし、お皿の表面に刺繍のように花模様も入れました。山根さんの作品は灰皿でしたが、奥さんは花瓶でした。篠原さんはうどんを食べる茶碗を作りました。センター職員の田中さんはヒョウタン形の容器ができました。皆さんは、想像力と美的センスを発揮し楽しい時間を過ごすごうできました。体験終了の時、高杉芳恵さんは「もつとやりたい。」と笑いながら言いました。今日の最低気温は0℃前後とても寒い一日でした。皆さんは久しぶりに外へ出かけ、自然と触れ合うことができました。今日の一日はいかがでしたか?と職員さんの質問に、皆さんは夫変よかったです。満足しました。」と大きな声で返事していました。

次回の新聞発送作業は
1月21日(金)午後1時半
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方
です。

小林 和 内 塚
竹内 竹 三 垣